

【レポート】

大田市立病院が令和2（2020）年5月に新しくなったが、平成16（2004）年の新医師研修制度を契機とした医師不足から始まる経営難を抱えている。また最近では、大田市だけでなく周辺自治体の少子高齢化が進み人口規模が小さくなり、経営にさらなる問題がのしかかっている。現状と市立病院の利用者からのアンケートからうかがえるものをまとめた。

大田市立病院について

— 大田市立病院の運営に対する点検及び評価報告書（令和4（2022）年度 運営状況）と患者満足度調査結果より —

島根県本部／大田市職員連合労働組合・自治研部長 渡邊 彩子

1. 大田市立病院について

全国の自治体運営病院は、平成16（2004）年の新医師臨床研修制度を契機とした医師不足の影響を受け、診療科の減少、救急対応の不可など影響を受けた。また、自治体運営病院であるために地域のカバーしきれない診療科や採算性の低い診療科を抱えがちである。また、地方の自治体病院はそれに加えて少子高齢化による人口減少もあるため、経営が苦しいところが多くある。

大田市立病院は、島根県の大田圏域（大田市・美郷町・川本町・邑南町）の中核病院として地域を支えているが、総人口は約5万人（2020年の国勢調査）であり、少子高齢化により人口減少地域であり、圏域の人だけでは、病院を支えるだけの採算をとることは難しい。よって、大田市圏域もとい大田市の市民が病気や怪我だけでなく、自身の健康を管理するための病院として広く活用することがこの病院の存続に繋がるであろう。

まずは大田市立病院の現状を市民に知ってもらうために小さな単位で活動を広げていきたい。

2. 自治研活動について

大田市立病院の現状を把握するというのは、採算面の側面からアプローチしていくには、とても難しいと思う。予算・決算を深く見る必要があり、この数値の意味を調べることも必要だ。個々の意味を探ることだけで心が折れそうである。いずれは、採算面で勉強会を開きたいと思うが、取り掛かりやすいところから始めたいと思う。

3. 大田市立病院経営強化プラン

令和5（2023）年3月に「大田市立病院経営強化プラン」が策定された。令和5（2023）年度から令和9（2027）年度までのプランであり、この期間は、新病院建設事業で整備を終えた医療機器や建物・附属施設の減価償却費が増大している期間であり、経常的収支の黒字化を図っていくのは困難である。このため、安定的な経営基盤を確立していくことをめざし、単年度資金収支が経常的に黒字となるように取り組んでいくことが基本方針とされた。

4. 令和4（2022）年度の大田市立病院決算状況について

令和6（2024）年5月25日に「自治労島根県本部公立病院対策会議」があり、その資料の中で気になった点を簡単にまとめる。

令和4（2022）年度損益計算書より、前年度と比べ入院収入・外来収入ともに上がっているが、患者数の減少となっている。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収まったことが背景なのか、理由は不明である。また、類似病院と比較して入院診療単価・外来診療単価が低いのが気になる。ここの理由を今後調査できたらと思う。

患者動向（令和4（2022）年度）

入院患者（一般）57,598人（前年度比 1,883人減） 一日平均157.6人 病床利用率73.3%（前年度75.7%）
外来患者数114,857人（前年度比 790人減） 一日平均472.7人
訪問看護3,538人（前年度比638人減） 一日平均14.6人

医業収益（令和4（2022）年度・3（2021）年度） （千円）

	令和4（2022）年度	令和3（2021）年度	差 額
医業収益	4,407,278	4,276,012	131,266
入院収益	2,656,201	2,635,938	20,263
外来収益	1,325,901	1,223,998	101,903
その他	425,176	416,076	9,100
内他会計負担金	295,896	283,081	12,815

	令和4（2022）年度	令和3（2021）年度	令和3（2021）年度 類似病院
入院診療単価	46,116円	44,316円	50,595円
外来診療単価	11,544円	10,584円	13,428円

令和4（2022）年度経常収支比率も96.6%であり、100%以上が望まれるが達成できていない。

また、「大田市立病院経営強化プラン」を確認すると、令和9（2027）年までの計画でも100%以上になる年度はなく、これからも苦しい経営状況が考えられる。これは、令和2（2020）年5月に完成した新大田市立病院建設の借金の返済が大きな影響を与えている。

これを念頭に置きながら、どうしたら経営が良くなるのか考えていきたい。

項 目	R 3 (2021) (実績)	R 4 (2022) (実績)	R 5 (2023)	R 6 (2024)	R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)
経常収支比率(%)	102.1	96.6	91.6	92.1	92.7	93.6	92.8

5. 患者満足度調査結果（令和5（2023）年実施）

大田市立病院では、平成28（2016）年度から「患者満足度調査」を行っている。病院側で行う調査であるため、批判的な意見が多いと思ったが、お礼等意見もあり、意外であった。批判的な意見の多くは、「診察・会計等の待ち時間が長い」「障害者駐車場が少ない」などシステム面、施設整備面を挙げられる人が多いと感じた。これから変えられることもあると思う。どうすれば待ち時間の短縮になるのか、

使いやすくなるのか考えてみたい。

市民が使いたくなる病院にするためには何が必要かの観点も必要であると思った。

また、診察の流れ（施設動線）が分かりにくいという意見もあり、新しい病院施設になってから訪れたことがない人には、分からないことも多くあると思う。新型コロナウイルス感染症により病院まつり等、多くの人に病院をひらくこともなかったためではないかと思われる。コロナ禍後初めて令和5（2023）年10月22日に病院まつりが開かれ、多くの市民も訪れた。様々な診察体験等もあったが、患者側・病院側の診察の流れを説明するところもあれば、診察・会計等になぜ時間がかかるのか理解も得られやすいのではないかと感じた。身近な病院になるために打てる手は、まだ多くありそうだ。

6. 今後に向けてのまとめ

大田市立病院についてどう関わっていくのがいいのか、採算面からアプローチするとなるとこちらも勉強が必要であり、多くの時間を割いて勉強しなければならないと思う。勉強会を一度開き、少しでも理解するところから始めていきたい。

病院の利用については、診療の流れ等々を分かりやすくしたMAP等があれば、利用者の満足度は上がるのではないかと思う。他の意見も聞いてみたい。

新しい病院ができてまだ4年、コロナ禍もあり市民に馴染んでいないのだと思う。足が遠のいていく病院ではなく、自身の健康管理のために足繁く通う病院にしたい。

参考

大田市立病院ホームページ

(<https://www.ohda-hp.ohda.shimane.jp/>)

大田市立病院経営強化プラン 令和5年（2023年）3月

大田市立病院の運営に対する点検及び評価報告書（令和4年度運営状況）令和5年11月

令和4年度 大田市立病院事業決算書

令和2年度～令和5年度 患者満足度調査結果

自治労島根県本部公立病院対策会議資料

日本医師会 JMAP 地域医療情報システム

(https://jmap.jp/cities/detail/medical_area/3204)

令和6年度島根県版 看護職のための病院ガイドブック